

財務諸表に対する注記

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
時価評価によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
器具備品及びソフトウェア……定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	102,324,600	0	102,324,600	0
当座預金	5,570,000	0	5,570,000	0
投資有価証券	449,775,000	0	399,250,000	50,525,000
小 計	557,669,600	0	507,144,600	50,525,000
特定資産				
投資有価証券	0	397,505,600	0	397,505,600
助成事業引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
特定普通預金	0	3,324,600	0	3,324,600
特定当座預金	0	6,297,000	0	6,297,000
特定定期預金	0	100,000,000	0	100,000,000
小 計	10,000,000	507,127,200	0	517,127,200
合 計	567,669,600	507,127,200	507,144,600	567,652,200

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	50,525,000	(50,525,000)	(0)	(0)
小 計	50,525,000	(50,525,000)	(0)	(0)
特定資産				
投資有価証券	397,505,600	(395,470,000)	(2,035,600)	(0)
助成事業引当資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
特定普通預金	3,324,600	(3,324,600)	(0)	(0)
特定当座預金	6,297,000	(6,297,000)	(0)	(0)
特定定期預金	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
小 計	517,127,200	(505,091,600)	(12,035,600)	(0)
合 計	567,652,200	(555,616,600)	(12,035,600)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
メタル刻印原型	300,000	293,998	6,002
ソフトウェア	386,400	51,520	334,880
合 計	300,000	290,998	9,002

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	232,500
特定資産運用益の振替額	2,918,013
合 計	3,150,513